



セーフコミュニティとは

セーフコミュニティ(SC)とは、WHO(世界保健機関)が推奨する「けがや事故などは偶然の結果ではなく、予防することができる」という理念に基づいて、予防に重点を置き、地域社会全体が協働で進める安全安心なまちづくりの取り組みです。

亀岡市では、市内で発生しているけがや事故の現状及び課題などから、自殺対策、高齢者の安全、交通安全、防犯対策、余暇・スポーツの安全、乳幼児の安全、学校の安全の7つの対策委員会を設置し、市民の皆さんとともに安全・安心なまちづくりを進めています。

亀岡市ドライブレコーダーによるまちな見守り協定拡大

ドライブレコーダーが活躍しています

亀岡市内の企業などが事業活動の中で使用されているドライブレコーダーを「動く防犯カメラ」として活用する「亀岡市ドライブレコーダーによるまちな見守り協定」を平成 28 年 4 月に締結しましたが、11 月 4 日には新たに関西電力(株)京都支社と締結しました。

同協定は、今回で 5 社目となり、合計 181 台のドライブレコーダー搭載車が市内で稼働しています。

また 11 月 14 日、同協定の締結事業者である京都タクシー(株)によるドライブレコーダーの情報提供が容疑者逮捕につながったとして、同社に感謝状が贈られました。



セーフコミュニティかめおか 正副委員長会議を初開催

対策委員会一体となってセーフコミュニティを推進

11 月 15 日に、初の試みで、6 つの対策委員会の正副委員長が意見交換を行う「セーフコミュニティかめおか 対策委員会正副委員長会議」を開催しました。

会議では、10 月 29 日に認証を取得した泉大津市セーフコミュニティ高齢者対策委員会から濱村委員長にお越しいただき、取り組みで工夫した点などをお話いただきました。

これからも、対策委員会間の連携も図りながら、セーフコミュニティ活動を推進していきます。



国内のセーフコミュニティ認証都市は 14 箇所となりました

セーフコミュニティ取り組み自治体との交流

大阪府泉大津市で 10 月 29 日にセーフコミュニティ認証式典が開催され、泉大津市は国内 14 箇所目、世界では 373 箇所目のセーフコミュニティ認証都市となりました。

それに合わせてセーフコミュニティに取り組む亀岡市、泉大津市、松原市の 3 市長が泉大津市内で懇談しました。懇談では、3 市長それぞれの想いや考えを共有し、安全安心なまちづくりについて意見交換しました。

また「全国セーフコミュニティ推進自治体ネットワーク会議」も同時開催され、平成 30 年度に厚木市で開催予定の「第 9 回アジア地域セーフコミュニティ会議」について、取り組み自治体で協力して進めていくことが確認されました。



第 26 回交通安全子ども自転車亀岡市大会

小学生が安全な自転車の乗り方を学ぶ

11 月 5 日、亀岡運動公園で、亀岡市内全小学校の代表児童が自転車の安全運転技能を競う「第 26 回交通安全子ども自転車亀岡市大会」を開催しました。

子どもたちは普段の練習成果を存分に発揮し、熱のこもった競技が展開されました。この自転車大会は、安全な自転車の乗り方やルールを学ぶために毎年開催しています。

この大会で 1~3 位になった小学校は、平成 29 年 5 月頃に開催される京都府大会に出場します。



高齢者運転免許証自主返納支援制度

運転に自信がなくなっていますか？

亀岡市では、70 歳以上の方を対象に、運転免許を有効期限前に自主返納された場合にタクシー又はバスチケット(5,000 円分)の支援をしています。

運転に自信がなくなったら、早めに運転免許を自主返納しましょう。

セーフコミュニティ応援隊を募集しています

受付フォーム→



セーフコミュニティ活動を応援していただく方を募集しています。

希望される方は、下記連絡先もしくは右上 QR コードから登録してください。希望された方に対しては、「セーフコミュニティニュース」などを送らせていただきます。

インターナショナルセーフスクール

安全で安心な学校・保育所・保育園づくり

セーフスクールとは

体と心のケガやその原因となる事故、いじめ、暴力を予防することによって、安全な学校や保育所づくりを進める活動がインターナショナル・セーフスクール(ISS)です。

亀岡市立曾我部小学校、社会福祉法人^{ほうじょうかい}倣裏会亀岡あゆみ保育園、亀岡市立保育所8カ所(本梅、東本梅、川東、中部、東部、第六、別院、保津)がISS認証を取得し、現在も取り組みを進めています。

保育所・園一体でISSに取り組みます

ISS研修会で遊具の安全と防災について考える

遊具の安全

11月7日に亀岡市役所で、ISSに取り組む9つの保育所・園と亀岡市立幼稚園合同による「遊具の安全」についてのワークショップを開催しました。

各園とも園庭でのケガが多く、遊具でのケガは重傷化しやすいことから、現在の遊具の安全対策などを情報交換しました。また京都第一赤十字病院救急科の安先生から専門的な視点での助言をいただき、より知識を深めました。



防災

11月17日に川東保育所で、市立保育所8園合同によるISS研修会として防災研修を実施しました。

保育所が一時避難所に指定されているところもあり、職員として子どもの安全だけでなく、地域の安全を守るためにはどうすればいいのかについて学びました。



まもるんじゃー看板ができました！

地域にISS活動を発信します

川東保育所のISSキャラクターである「まもるんじゃー」が、子どもの飛び出しをドライバーに注意喚起する「飛び出し坊や」となって、川東保育所入口と馬路町自治会前に設置されました。

このまもるんじゃーは馬路町自治会・亀岡警察署馬路駐在所・川東保育所の協働で制作されました。



交通安全について学ぼう！

さまざまな形で子どもたちが学んでいます

合同交通安全教室

10月12日、曾我部小学校で中部保育所との「合同交通安全教室」が開催されました。曾我部小学校と中部保育所はともにISSに取り組んでおり、取り組み当初から合同交通安全教室を継続しています。

児童が園児とともに横断歩道を渡る練習をするなど、子どもたちの交流も生まれていました。

また、この交通安全教室の中で、自転車運転免許証の取り組みも行いました。



マクドナルドの「交通・防犯教室」

10月18日、保津保育所に集まった本梅・保津保育所の園児を対象に、マクドナルドによる「交通・防犯教室」が開催されました。

園児たちは、ドナルドと一緒に交通ルールや知らない人に声をかけられた時の対応について勉強し、積極的に手を挙げて参加していました。

11月16日には、別院保育所でも開催されました。



平安騎馬隊の「交通安全教室」

11月30日、別院保育所で保護者や地域の未就園の子どもも招いて、京都府警の平安騎馬隊と亀岡警察署東別院・西別院駐在所による「交通安全教室」が開催されました。

駐在所員からは、チャイルドシート着用の重要性などをお話いただきました。

馬と触れ合い、乗馬の体験もさせてもらいながら、楽しい時間を過ごす中で、交通ルールを学ぶことができました。



チャイルドシートは必ず着用しましょう！